



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2019

No. 6 (2019年7月19日発行)

高1 SGHリレー講座

第3回SGH地域リーダーズ・シンポジウム ～地域リーダーと語る佐野とグローバル社会の未来～

2019年6月13日(木)6、7限に、本校にて高校1年生を対象に地域リーダーズ・シンポジウムが開催されました。地域のリーダー18名のシンポジストをお招きし、6会場に分かれ貴重なお話を聞くことができました。生徒たちは、自分たちの課題研究のテーマのヒントを得ようと、熱心に耳を傾けました。シンポジストの方との距離がとても近く感じられ、様々な地域の問題を身近なものとして捉えられることができました。また、シンポジウム後の情報交換会では2、3年生も加わり、一人ひとりのシンポジストに直接質問するとても良い機会が得られました。参加された皆様、ありがとうございました。

<6領域のシンポジスト>

- 領域1 災害・公害からの復興・**坂原辰男氏**(田中正造大学事務局長)、**金子好雄氏**(佐野市危機管理担当参事)、**小黑道則氏**(佐野警察署葛生交番所長)
- 領域2 自然・生命(医療)・**山門寛氏**(足利大学看護学部 部長)、**飯郷雅之氏**(宇都宮大学農学部教授)、**青柳貴紀氏**(里山農園やぎファーム 代表)
- 領域3 食料・エネルギー・水・**関塚学氏**(あきやま有機農村未来塾 事務局長)、**島田嘉紀氏**(第一酒造株式会社 代表取締役社長)、**河本祥久氏**(株式会社 波里 常務取締役)
- 領域4 環境・経済・法律・**吉田登志幸氏**(オストコーポレーション北関東 代表)、**山田実氏**(さの総合法律事務所 弁護士)、**野部武典氏**(味噌まんじゅう 新井屋 代表取締役)
- 領域5 まちづくり・コミュニティ・**吉澤章裕氏**(空港サービス株式会社 代表取締役)、**池澤智則氏**(さのまちづくり株式会社 事業グループリーダー)、**菊池輝一氏**(佐野市移住・定住地域おこし協力隊員(お笑い芸人のテルさん))
- 領域6 教育・人権・文化・**中山昌樹氏**(認定こども園あかみ幼稚園 理事長)、**川久保紀久子氏**(日本女性会議2019さの実行委員会 副実行委員長)、**秋山仁雄氏**(クリケットタウン佐野 創造プロジェクトマネージャー)

領域1 災害・公害からの復興



佐野市でも災害が起きやすいスポットはたくさんあり、もしもそれが起こった際は、自助、共助、公助のバランスのとれた対応が最も効果的なものということが分かった。 **高1年1組 出井公人**

田中正造の生き方・行動から、公害に対して、どのように考えるべきか学ばなくてはいけないと思った。自助、共助、公助の精神で助け合いの心が災害時には大切なんだと感じた。 **高1年4組星野虎乃**

自分たちの身近で危険がある、がん対策のためにすべきことが分かった。がん検診の現状で、お金がかからないのに行く人が少なかったり、がん検診をしても精密検査に行かない人が多いということが分かった。とりあえず受けてみるべきだと思う。

高 1年2組 若林侑汰

努力することの大切さ、グローバルな視点を持つことの重要性などを学ぶことができた。課題研究を行う際、これらのことを参考にしたいと思った。

高 1年1組 佐藤汰樹

領域2 自然・生命(医療)



領域3 食料・エネルギー・水



農業をするにも、大変な努力が必要で、ただ勉強するだけでなく、実際に体験したり、ファームステイなどをしてみるのが大切だと思います。

高 1年1組 知久拓生

3人のシンポジストの方全員が日本の食料自給率を問題にあげていて、どの企業も自給率をあげるため、自社で米や胡麻を栽培するなどの努力をしており、安い外国産のものを仕入れて製造するという私の今までの考えを翻した。

高 1年2組 大澤淳太郎

環境と法律の分野については、将来の社会情勢に伴ってあり方が変化していくことをよく実感することができました。

高 1年3組 岩地優

入管法が改正され、今後地方でも外国人労働者が増加することが見込まれていて、栃木県も例外ではない。文化、価値観の異なる外国人労働者との労使関係は労働者だけでなく、使用者側である企業にも法的整備をすることが求められる。

高 1年2組 細野俊碧

領域4 環境・経済・法律



領域5 まちづくり・コミュニティ



3人の方が「地球の良いところをたくさん知り、ネガティブ（マイナス）に考えず、ポジティブ（プラス）に考えろ！」ということをおっしゃっていて、大切にしようと思いました。

高 1年3組 森田早耶

空き家を活用することによって、映画やドラマを撮って、「芸能人が来た」などという自慢ができる。佐野が有名になる。同じイベントを何度もすることで、観光客の人にとっては佐野がこういう所というのが定着すると思いました。

高 1年4組 高橋彩音

地域と関わることで子供の遊びが高まること、それがやがて地域の活性化、まちづくりになることを知りました。今は子供が外で遊ぶ場所が少なくなっていると聞いたことがあります。私たち若者が子供の遊べる場を作るべきだと思います。

高 1年3組 山本朋果

川が汚れてしまってかっぱがいなくなってしまったので、帰ってこれるように川辺のゴミ拾いを子供がやることを提案したということに驚きました。遊びが地域の未来を変えるのだなと思いました。

高 1年4組 松原唯衣

領域6 教育・人権・文化

